

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	HIYOKO STUDY館下教室		
○保護者評価実施期間	2025年5月13日 ~ 2025年5月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	2025年5月24日 ~ 2025年5月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年6月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育に特化したプログラムがある。	児童発達支援は母子同伴で1時間の個別療育を行っていた。保護者様がお子さまの課題への取り組み状況をその場で確認出来る。	継続して個別療育を行っていく。 また、これまで以上に1人1人にあったプログラムの立案、実行ができるよう取り組んでいく。
2	保護者との良好な関係が築けていた。	1時間の時間の中で保護者様と話し合い今後の支援計画を話したり日々の悩みを共有し相談する環境が整えられていた。	今後も保護者様が気軽に何でも話しやすい環境整備を整え、保護者様とお子さまが不安なく通える事業所になるよう努める。
3	個別計画書を基づいた支援が行えた。	保護者様に説明する時間をいただき、同意の上で支援を行うことができていた。	面談から保護者様のお気持ちをしっかりとくみ取り、計画書に反映させていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムやご家族等で参加できる研修会や情報提供の機会がなかった。	療育時間中の支援にとどまり、ご家族で研修する機会を設けられなかった。	今後はご家族が参加できる研修会や情報提供の場を設けることを検討いたします。
2	父母の会の活動や保護者会等の開催がなかった。	開催する場をつくれなかった。	より保護者様と交流できるよう努めます。
3	各種マニュアルについて十分な説明がなかった。	災害、防犯、感染症等の対応方法が保護者様へ説明できていなかった。	契約時や定期的に保護者様と対応方法の確認をいたします。